

## ハナシュクシャ・・・



9号棟の自転車置き場から南に抜けた周辺に、ハナシュクシャが花を咲かせています。以前から草丈1mを超えた、ショウガの葉に似ている植物の群生が気になっていたのですが、花の姿を見て、やっと名前が分かりました。

東南アジア原産で、日本には江戸時代に渡来し、和名を「ハナシュクシャ（花縮紗）」と言っていますが、園芸種としては、英語名の「ジンジャー・リリー」から「ホワイト・ジンジャー」と呼ばれることが多いようです。ただし、漢方でいう「縮砂」とも、薬味などに用いる「ショウガ（ジンジャー）」とも別物ですのでお間違いなく。花の色もこの他に黄色や橙赤色のものがあり、フラ・ダンスやレイで使われる飾りの花だと言った方が、納得される方も多いかもしれません。

短日植物で、通常は8月から9月頃の夕方に白い花を咲かせますが、温暖化の影響か10月下旬に入っても花を咲かせています。夜行性の花で芳香性が強く、翌日の朝まできれいに咲いていますが、昼ごろにはしおれてしまうので、注目度は今ひとつかもしれません。でも、花言葉は「あなたを信頼します」。美しい蝶が羽を広げているようにも見える姿とともに、甘い香りと一緒に、信頼する方に届けることができたなら何と素敵なことでしょう。

それにしても、どなたが最初にここに植えられたのでしょうか。ちょっと気にかかります。